

事業計画書

1 財団の設立目的と設立以降の経過

当財団は、昭和34年8月任意団体として発足し、昭和37年4月に文部大臣より財団法人として認可され、設立されました。以来50有余年の長きにわたり、「蛋白質・ペプチド等に関する研究と、これらに関する学術研究の奨励と発展に寄与する」ことを目的として事業を展開してきました。

また、平成20年12月に新公益法人制度改革三法が施行され、この法律に基づき、平成25年4月1日より一般財団法人(非営利型法人)に移行し、新法律に基づいた一般財団法人として、発展的にこれらの事業を進めてきました。

平成28年度から収益事業として、一般社団法人日本蛋白質科学会、日本ペプチド学会等の事務代行業業を行っています。

また、令和元年11月から、新しい収益事業として、ケンブリッジ構造データベースの事務代行業業を開始し、現在に至っています。

2 事業計画について

引き続き以下の事業に取り組みます。

(1) 研究助成事業

国立大学共同利用・共同研究拠点である大阪大学蛋白質研究所における研究活動、講演会・セミナー開催等への助成、若手研究者への奨学金支給等の助成活動を行います。

また、アミノ酸、ペプチド、蛋白質に関する研究活動を行っている全国の若手研究者に対して研究費の助成を行います。さらには、これらの研究の推進を図っている一般社団法人蛋白質科学会、日本ペプチド学会等の運営費や学会開催経費の支援を行います。

(2) 研究支援事業

蛋白質・ペプチド等に関する各種の情報をデータベース化するとともに、そのためのシステムの開発に取り組んできました。当財団が構築し、提供しているデータベースは、国内外の多くの研究者、研究機関が利用しています。

引き続きデータベース構築を進めるとともに、今までに蓄積してきたデータベース構築技術を使い、PDB j等の公共データベースの構築に協力して

いきます。

国立研究開発法人医薬基盤・健康・栄養研究所に対して、システム開発等の支援と文書管理サービスの提供を行っており、これらについても引き続き協力していきます。

(3) 収益事業

① 建物等賃貸事業

建物の一部及び駐車場（11台分）の賃貸事業を行います。駐車場については未使用部分の収益向上に努力します。

② レンタルサーバー等事業

当財団内に設置している高機能サーバーを用いて、レンタルサーバー事業を引き続き行います。

サーバー設置のための基盤システム環境（サーバー室）の賃貸しを行うとともに、設置者のためにサーバーシステムの管理、指導を行います。

③ 学会等事務代行業

一般社団法人日本蛋白質科学会及び日本ペプチド学会等の事務代行業を行います。

④ ケンブリッジ構造データベース（CSD）事務代行業

大阪大学蛋白質研究所からの依頼をうけて、CSDに関わる事務代行業を始めました。

(4) その他の事業

昨年度に引き続き研究開発に必要な研究費の要求を行うため、日本学術振興会科学研究費補助金募集に応募します。

3 財政状況の検討について

投資有価証券等の資産を効率的に運用するよう努めます。さらに長期的に、財政基盤が安定強化できるよう検討を進めます。